



2020年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月12日

上場会社名 コーア商事ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9273 URL <https://www.koashoji-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 首藤 利幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長 (氏名) 小松 美代子 TEL 045 (560) 6607
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第2四半期の連結業績（2019年7月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	7,361	9.2	907	152.9	911	140.9	618	323.1
2019年6月期第2四半期	6,740	—	358	—	378	—	146	—

(注) 包括利益 2020年6月期第2四半期 632百万円 (332.5%) 2019年6月期第2四半期 146百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第2四半期	62.49	—
2019年6月期第2四半期	14.77	—

- (注) 1. 当社は、2018年6月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年6月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 当社は、2018年11月6日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第2四半期	21,449	13,804	64.4
2019年6月期	22,088	13,409	60.7

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 13,804百万円 2019年6月期 13,409百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2020年6月期	—	0.00	—	—	—
2020年6月期（予想）	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	△1.4	1,300	7.4	1,310	2.6	850	30.0	85.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期2Q	9,904,995株	2019年6月期	9,904,995株
② 期末自己株式数	2020年6月期2Q	290株	2019年6月期	275株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期2Q	9,904,715株	2019年6月期2Q	9,904,820株

(注) 当社は、2018年11月6日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、アメリカと中国との貿易摩擦による先行き不透明感が依然続く中、国内では設備投資は堅調に推移したものの消費税増税による個人消費の動向が懸念されております。

後発医薬品業界におきましては、2025年には5人に1人が75歳以上になるという「2025年問題」を控え、「経済財政運営と改革の基本方針2019～『令和』新時代：『Society5.0』への挑戦～」(骨太方針2019)でも「後発医薬品の使用促進について、安定供給や品質の更なる信頼性確保を図りつつ、2020年9月までの後発医薬品使用割合80%の実現に向け、インセンティブ強化も含めて引き続き取り組む。」と明記されており、ジェネリック医薬品は今後も数量シェアの拡大が続くものと見込まれます。その一方で、2年に1回としてきた薬価改定を2021年度から毎年実施する方針が了承され、価格の引き下げ圧力が増すなど厳しさも見えてきております。

このような事業環境の中で、当社グループは高品質で安価な輸入原薬を提供することに主眼をおいて、医薬品原料である原薬の輸入販売を行うとともに、注射剤を中心とした医薬品製剤の開発・製造・販売を行い、原薬の調達から製剤までの一貫した製造が可能な体制のもと、国内外の医薬品メーカーと幅広く取引を実施しております。また、自社開発品の製造・販売並びに国内大手メーカー等からの製造受託を通じて、ジェネリック医薬品を中心に医薬品業界における多様なニーズに対応できる事業展開を行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高7,361百万円(前年同期比9.2%増)、営業利益907百万円(前年同期比152.9%増)、経常利益911百万円(前年同期比140.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益618百万円(前年同期比323.1%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

原薬販売事業

原薬販売事業におきましては、第1四半期に引き続き、抗生物質製剤、催眠鎮静剤、アルキル化剤等で販売が増加したものの高脂血症用剤用原薬等が在庫調整による需要減や競合他社の参入により販売が減少したことで、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,278百万円(前年同期比3.1%増)となりました。一方でセグメント利益は売上構成の変化により887百万円(前年同期比34.3%増)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高418百万円(前年同期比4.9%増)を含んでおります。

医薬品製造販売事業

医薬品製造販売事業におきましては、一部製品の受託製造が開始し販売に寄与したため売上高は2,501百万円(前年同期比24.0%増)、セグメント利益は63百万円(前年同期は251百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

総資産は21,449百万円となり、前連結会計年度末に比べ639百万円減少いたしました。これは主に、商品及び製品が431百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金の減少821百万円、原材料及び貯蔵品の減少155百万円、および減価償却実施による建物及び構築物(純額)の減少98百万円等があったことによるものであります。

負債は7,645百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,034百万円減少いたしました。これは主に、電子記録債務の増加195百万円があった一方で、支払手形及び買掛金の減少493百万円、長期借入金の減少160百万円、および設備関係未払金を含む流動負債のその他の減少610百万円があったことによるものであります。

純資産は13,804百万円となり、前連結会計年度末と比べ395百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益618百万円の計上による増加があった一方、配当金支払による減少237百万円によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末より3.7ポイント増加し、64.4%となっております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ339百万円増加し、4,594百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,172百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加額408百万円、仕入債務の減少額298百万円、および法人税等の支払額326百万円があった一方で、税金等調整前四半期純利益947百万円、減価償却費258百万円、売上債権の減少額775百万円、および法人税等の還付額263百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は473百万円となりました。これは主に、固定資産取得による支出455百万円、定期預金の預入による支出72百万円があった一方で、定期預金の払戻による収入57百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は364百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出118百万円、配当金の支払額237百万円等があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の連結業績予想につきましては、2019年8月8日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,865,392	5,219,405
受取手形及び売掛金	4,783,366	3,961,620
電子記録債権	2,611,499	2,657,721
商品及び製品	945,193	1,376,725
仕掛品	104,862	237,506
原材料及び貯蔵品	491,915	336,340
その他	532,828	75,111
貸倒引当金	△10,663	△512
流動資産合計	14,324,394	13,863,918
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,727,729	4,727,729
減価償却累計額	△1,573,758	△1,672,040
建物及び構築物(純額)	3,153,970	3,055,689
機械装置及び運搬具	3,409,426	3,430,819
減価償却累計額	△1,017,799	△1,122,153
機械装置及び運搬具(純額)	2,391,627	2,308,666
工具、器具及び備品	1,070,873	1,079,238
減価償却累計額	△891,433	△914,576
工具、器具及び備品(純額)	179,439	164,661
土地	1,761,774	1,761,774
建設仮勘定	—	998
有形固定資産合計	7,486,812	7,291,789
無形固定資産		
その他	82,803	73,384
無形固定資産合計	82,803	73,384
投資その他の資産		
投資有価証券	99,534	118,600
繰延税金資産	60,670	56,003
退職給付に係る資産	20,681	29,310
その他	13,506	16,136
投資その他の資産合計	194,393	220,050
固定資産合計	7,764,009	7,585,223
資産合計	22,088,404	21,449,142

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,256,441	1,763,319
電子記録債務	193,370	389,341
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	303,632	345,332
未払法人税等	336,588	335,857
賞与引当金	45,434	34,231
その他	1,022,819	412,582
流動負債合計	5,008,286	4,130,665
固定負債		
長期借入金	3,345,676	3,185,010
繰延税金負債	21,976	22,444
役員退職慰労引当金	91,575	93,006
退職給付に係る負債	109,083	114,008
その他	102,807	99,972
固定負債合計	3,671,117	3,514,442
負債合計	8,679,403	7,645,107
純資産の部		
株主資本		
資本金	522,277	522,277
資本剰余金	205,828	205,828
利益剰余金	12,649,945	13,031,195
自己株式	△293	△305
株主資本合計	13,377,757	13,758,995
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,926	44,907
繰延ヘッジ損益	△2,683	133
その他の包括利益累計額合計	31,242	45,040
純資産合計	13,409,000	13,804,035
負債純資産合計	22,088,404	21,449,142

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
売上高	6,740,432	7,361,559
売上原価	5,156,346	5,259,625
売上総利益	1,584,086	2,101,934
販売費及び一般管理費	1,225,462	1,194,830
営業利益	358,623	907,103
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,067	2,206
為替差益	11,364	—
受取手数料	5,060	5,616
補助金収入	8,615	7,566
受取補償金	674	4,490
その他	3,125	1,849
営業外収益合計	30,908	21,730
営業外費用		
支払利息	11,392	13,623
為替差損	—	2,191
その他	11	1,930
営業外費用合計	11,404	17,744
経常利益	378,128	911,089
特別利益		
販売権譲渡益	—	36,591
特別利益合計	—	36,591
税金等調整前四半期純利益	378,128	947,680
法人税、住民税及び事業税	232,463	330,364
法人税等調整額	△614	△1,646
法人税等合計	231,848	328,718
四半期純利益	146,279	618,962
親会社株主に帰属する四半期純利益	146,279	618,962

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	146,279	618,962
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,054	10,980
繰延ヘッジ損益	1,078	2,817
その他の包括利益合計	24	13,797
四半期包括利益	146,303	632,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	146,303	632,760

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	378,128	947,680
減価償却費	254,260	258,378
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△18,730	△10,150
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,477	△11,202
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△9,643	1,431
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△8,628
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△887	4,924
受取利息及び受取配当金	△2,067	△2,206
支払利息	11,392	13,623
補助金収入	△8,615	△7,566
販売権譲渡益	—	△36,591
為替差損益 (△は益)	△430	△3,779
固定資産除売却損益 (△は益)	△892	780
売上債権の増減額 (△は増加)	798,599	775,524
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△483,658	△408,602
仕入債務の増減額 (△は減少)	△88,618	△298,371
未収入金の増減額 (△は増加)	33,512	63,207
その他	△56,146	△74,816
小計	794,725	1,203,635
利息及び配当金の受取額	2,067	2,206
利息の支払額	△15,447	△13,951
補助金の受取額	8,933	7,885
法人税等の支払額	△345,514	△326,738
販売権譲渡に係る対価の受取額	—	36,591
法人税等の還付額	33,378	263,227
営業活動によるキャッシュ・フロー	478,143	1,172,856
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△207,778	△455,360
固定資産の売却による収入	892	—
定期預金の預入による支出	△59,005	△72,465
定期預金の払戻による収入	170,003	57,463
その他	△2,634	△2,758
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,522	△473,121
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△464,000	—
長期借入金の返済による支出	△26,766	△118,966
自己株式の取得による支出	△205	△12
配当金の支払額	△230,322	△237,141
その他	△8,272	△8,383
財務活動によるキャッシュ・フロー	△729,566	△364,503
現金及び現金同等物に係る換算差額	430	3,779
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△349,514	339,010
現金及び現金同等物の期首残高	4,936,346	4,255,887
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,586,832	4,594,897

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	原薬販売事業	医薬品製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,722,606	2,017,826	6,740,432	—	6,740,432
セグメント間の内部売上高 又は振替高	398,630	—	398,630	△398,630	—
計	5,121,237	2,017,826	7,139,063	△398,630	6,740,432
セグメント利益又は損失(△)	661,088	△251,908	409,179	△50,556	358,623

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△50,556千円には、セグメント間消去△8,777千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△237,535千円、及びその他の調整額195,756千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用等であります。その他の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に対する経営指導料支払額の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	原薬販売事業	医薬品製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,860,219	2,501,340	7,361,559	—	7,361,559
セグメント間の内部売上高 又は振替高	418,001	—	418,001	△418,001	—
計	5,278,220	2,501,340	7,779,561	△418,001	7,361,559
セグメント利益	887,770	63,041	950,811	△43,708	907,103

(注) 1. セグメント利益の調整額△43,708千円には、セグメント間消去△13,572千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△235,988千円、及びその他の調整額205,852千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用等であります。その他の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に対する経営指導料支払額の消去であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。